

設計用気象データ DsnNavi の使い方

2020 年版

January 2025

株式会社 気象データシステム (MetD S)
Meteorological Data System, Co., Ltd.

目次

1.	ソフトウェアのダウンロードと起動	1
2.	ソフトウェアのライセンス認証	1
3.	操作方法	2
3.1.	インターフェイスの切り替え	2
3.2.	地点選択の方法	3
3.3.	ミニマップの使い方	4
3.4.	グラフ表示.....	5
3.5.	設計用気象データ ファイル出力.....	6
4.	出力されるファイル	7
4.1.	EA 設計用気象データ	7
4.2.	HASPEE 設計用気象データの構成	8

1. 著作権・使用許諾について

本ソフトウェアのダウンロードファイル圧縮ファイル内に同梱している PDF ファイル「EA 設計用気象データを使用するにあたって EA 設計用気象データの使用許諾契約書」並びに、「HASPEE 設計用気象データを使用するにあたって HASPEE 設計用気象データの使用許諾契約書」に記載されていますので、ご一読ください。その内容に同意する場合に限り、本書で解説するプログラムを使用できます。本ソフトウェアを起動した時点で、その内容に同意したものと見なします。

2. 動作環境について

本ソフトウェアは、Windows11 での使用を前提に開発され、日本語版 Windows11 において動作の確認をしています。動作に必要な最低限の画面の解像度は、1368×768 ドットですが、解像度高いほど快適に動作します。本ソフトウェアのインストール先には、約 1GB の空き容量が必要です。

3. お問い合わせについて

本ソフトウェアに関するお問い合わせは、E-mail もしくはお問い合わせフォームにてお願いいたします。（電話、FAX 等でのお問い合わせは受け付けておりません。）

[E-mail] ea@metds.co.jp

1. ソフトウェアのダウンロードと起動

本ソフトウェアは、株式会社気象データシステムのホームページ (<https://www.metds.co.jp>) から、必要事項を入力してダウンロードできます。本ソフトウェアは圧縮ファイル（ファイル名：DsnNavi_2020.zip）で配布されており、解凍ファイル内に、プログラムファイル「DsnNavi_2020.exe」があります。本ソフトウェアはインストールを必要とせず、「DsnNavi_2020.exe」を任意の場所に配置し、ダブルクリックにより起動できます。

2. ソフトウェアのライセンス認証

初回は無償版の状態起動します。無償版でも、EA 設計用気象データ全地点（836 地点）の気象データのグラフを閲覧することができます。さらに、無償 50 地点については、EA 設計用気象データ並びに HASPEE 設計用気象データを出力することができます。ただし、全地点（836 地点）のデータを出力することはできません。

全地点のデータを出力できるようにするには、EA 設計用気象データ並びに HASPEE 設計用気象データの全地点データの購入手続きをする必要があります。

図 1 は、グラフ表示画面右側の表示で、製品の状態を表しています。EA 設計用気象データと HASPEE 設計用気象データのそれぞれについて、「製品版」なのか「無償版」なのかが表示されています。

MetDS から全地点の購入手続きをされたユーザー様は、「ライセンス認証」ボタンを押して MetDS から提供されたシリアル番号をペーストしてください。「無償版」から「製品版」に切り替わります。



図 1

3. 操作方法

3.1. インターフェイスの切り替え

本ソフトウェアは図2に示す「地点選択画面」と「グラフ表示 ファイル出力 画面」の2つのインターフェイスで構成されており、左下の切り替えボタンにより、相互に切り替えることができます。

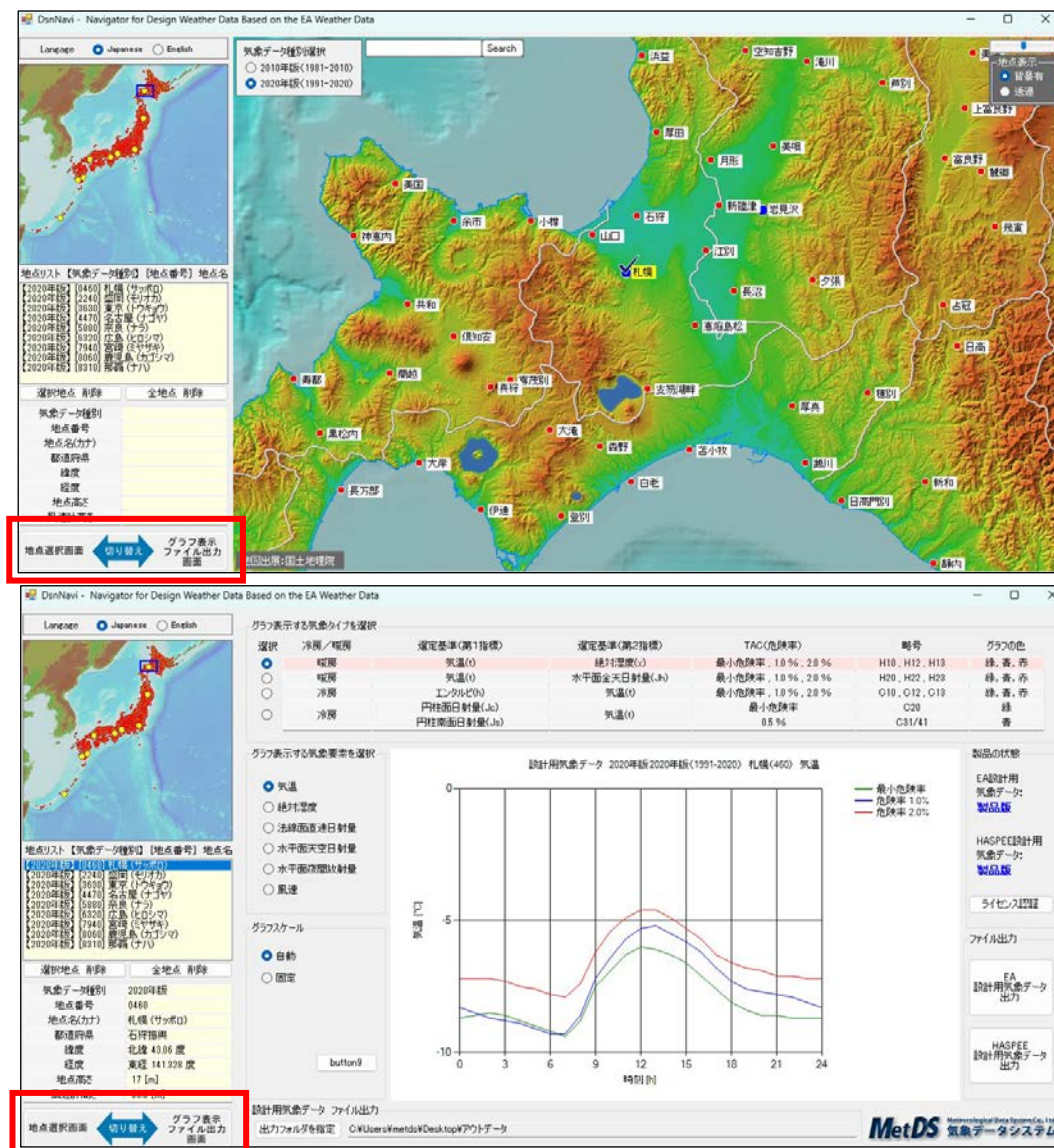


図2 DsnNavi のインターフェイス

上は「地点選択画面」、下は「グラフ表示 ファイル出力 画面」

3.2. 地点選択の方法

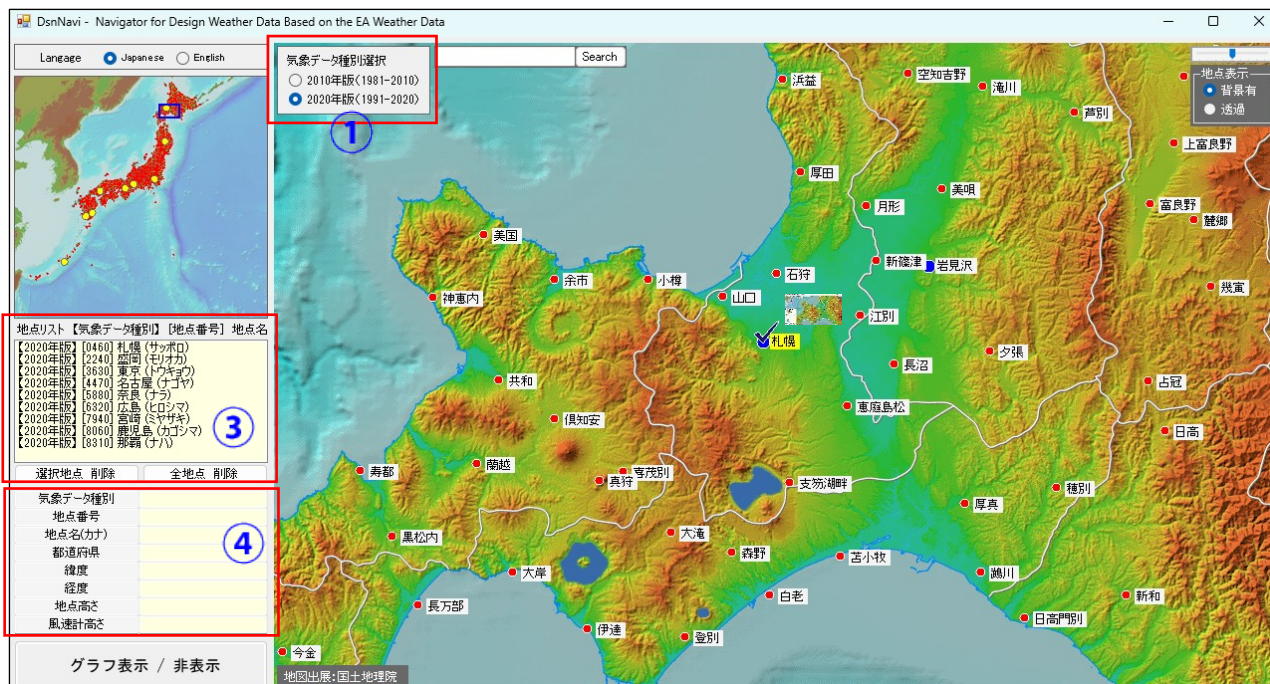


図3 地点選択画面

① 気象データ種別の選択

- ・2010年版（1981-2010）：1981-2010年（30年間）のEA気象データから作成された設計用気象データ
- ・2020年版（1991-2020）：1991-2020年（30年間）のEA気象データから作成された設計用気象データ

② 地点の選択

選択したい地点のラベルをクリックすることにより、地点を選択できます。すでに選択されている地点をクリックすると選択が解除されます。地点を選択することによりグラフ表示画面でグラフを表示することができます。データ出力はここでの選択に関わらず一括出力されます。

ファイルの一括出力について

- 無償版の場合：無償50地点すべてが一括して出力されます。

稚内、旭川、札幌、岩見沢、網走、北見、帯広、室蘭、函館、青森、
秋田、盛岡、仙台、山形、福島、つくば、宇都宮、前橋、東京、父島、
銚子、長野、甲府、静岡、名古屋、新潟、富山、福井、彦根、大阪、
奈良、岡山、広島、松江、高松、松山、高知、下関、福岡、大分、
長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿児島、名瀬、那覇、南大東島、宮古島、石垣島

※無償50地点は、地図上で青い丸で示されています。

- 有償版の場合：全地点（836地点）が一括して出力されます。

- ③ 地点リスト 選択された地点が表示されます。
- ④ 地点詳細情報 地点リスト内の任意の地点をクリックすると、緯度や経度などの詳細情報が表示されます。

マップの操作

- ・マウスホイール マウスホイールにより地図を拡大縮小することができます。
- ・ドラッグ ドラッグすることにより地図を移動することができます。

3.3. ミニマップの使い方

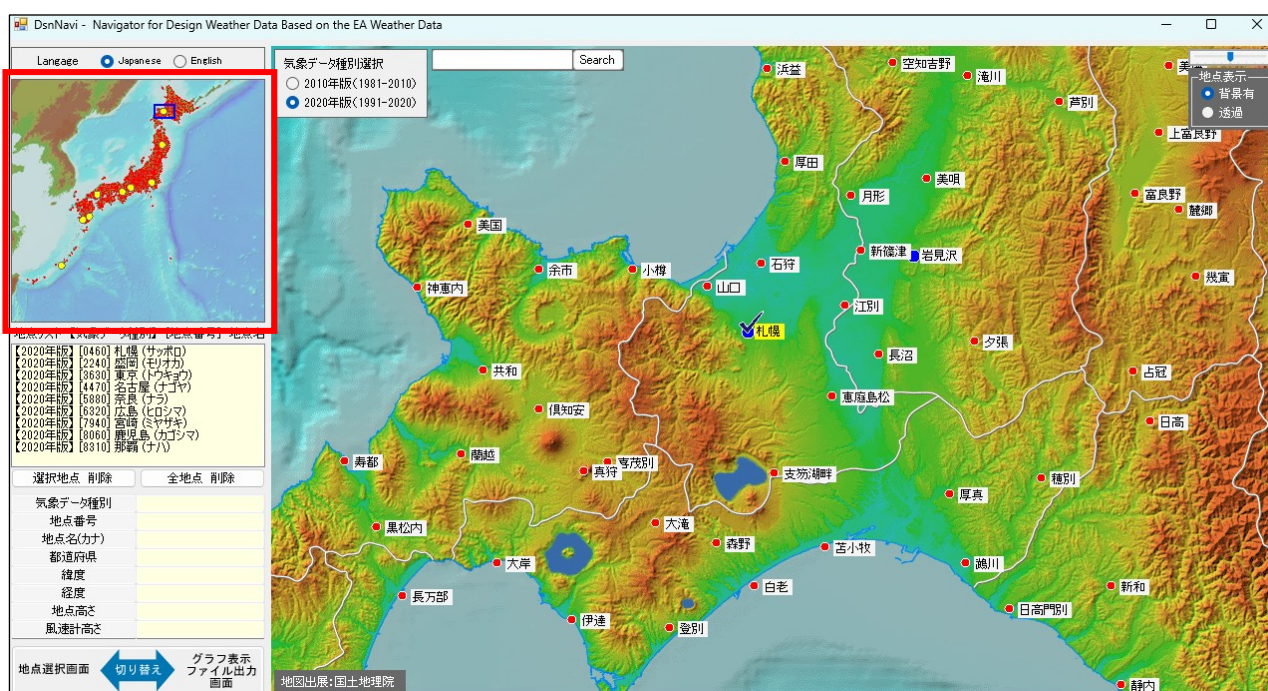


図4 地点選択画面左上にあるミニマップ

図4に示す左上に配置されているミニマップには日本全国が表示されており、地点位置は赤色、選択地点位置は黄色の点が表示されています。また、メインマップに表示されているエリアがどこにあるかが青い四角形で表示されています。

ミニマップの便利な使い方

- ・ミニマップ上をクリック
任意の場所をクリックすると、その場所にジャンプすることができます。
- ・ミニマップ上の青い四角形をドラッグアンドドロップ
青い四角形にマウスを近づけると手のマークになり、その状態でドラッグすると青い四角形を移動させることができます。

3.4. グラフ表示

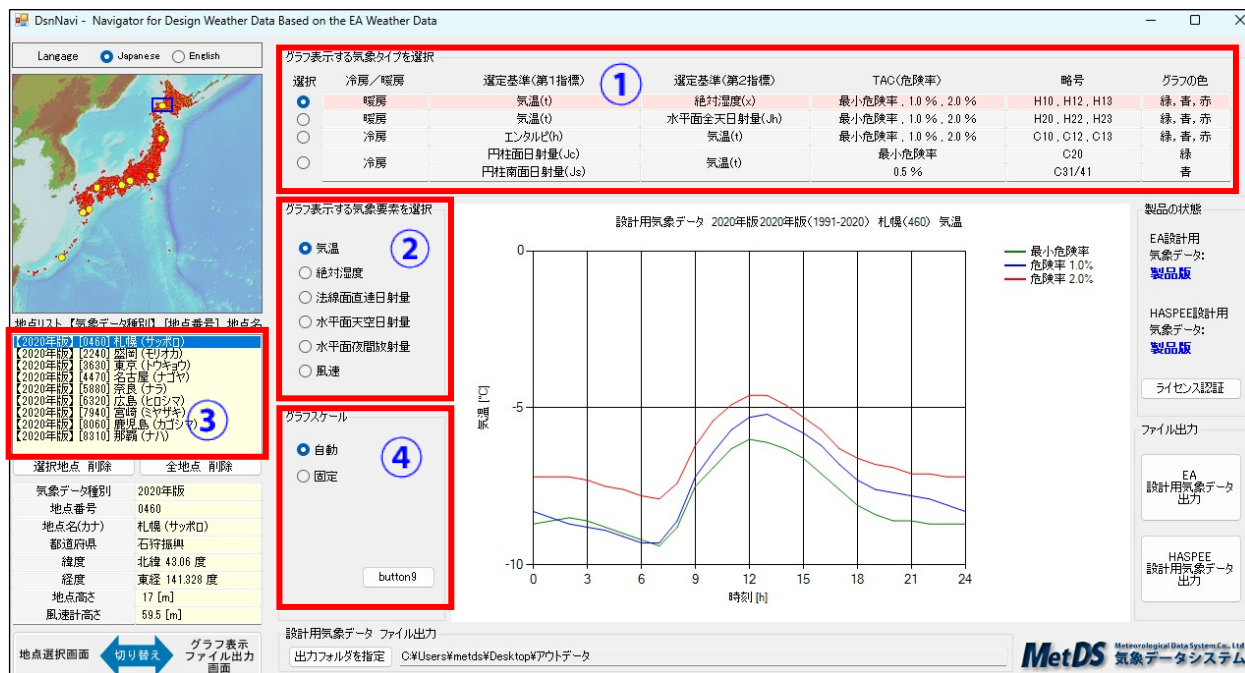


図5 グラフ表示インターフェイス

EA 設計用気象データの各気象タイプのグラフを描くことができます。

① 気象タイプの選択

EA 設計用気象データの指標となる条件と危険率に基づき 11 の気象タイプがあり、それが 4 つのグループに分けられています。グラフを描きたい気象タイプを選択します。

② 気象要素の選択

グラフを描きたい気象要素を選択します。

③ 地点の選択

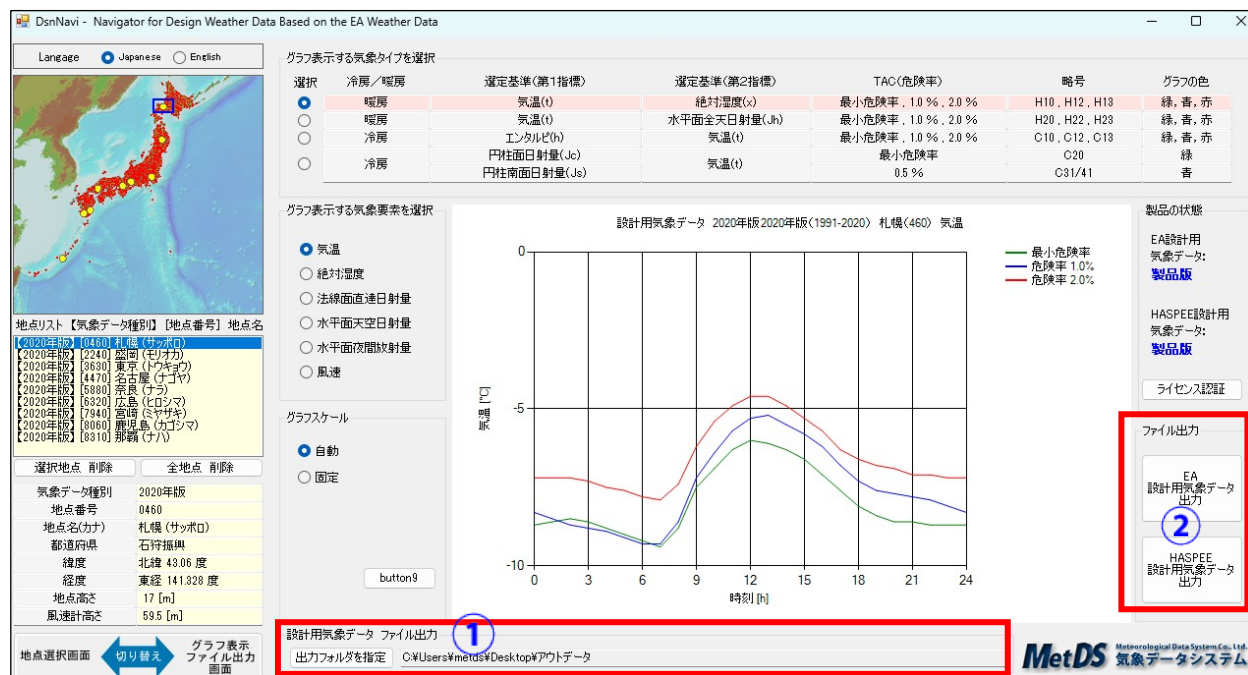
グラフを描きたい地点を選択します。

④ グラフスケール

各地点のグラフを比較したい時、グラフスケールが自動的に変化すると各々を比較できません。お好みに応じ、グラフスケールを固定してください。ただし、気象タイプを変更したとき、また、気象要素を変更したときには、数値の体系が異なりますので自動的に「自動」に戻ります。

HASPEE 設計用気象データのグラフを描く機能はありません。

3.5. 設計用気象データ ファイル出力



① 出力フォルダを指定します。

初回起動時には必ず設定してください。二回目以降の起動時には、前回設定したフォルダが設定されています。

② 設計用気象データファイル出力

このボタンを押すとファイル出力が始まります。

4. 出力されるファイル

4.1. EA 設計用気象データ

EA 設計用気象データの出力ボタンを押すと、出力フォルダとして指定したフォルダの下層に以下の2つのフォルダが自動的に作成されます。

- ・ 「EA_2010」 . . . 2010 年版の EA 設計用気象データが格納されます。
- ・ 「EA_2020」 . . . 2020 年版の EA 設計用気象データが格納されます。

さらに、その下層に地点番号と地点名の付されたフォルダが作成されます。

【例】 宗谷岬の場合のフォルダ名：「0010_Soyamisaki」

そのフォルダ内に11個の設計用気象データファイルが生成されますが、ファイル名の意味を、下記を例にとり解説します。

0010C 10_SI. hash

地点番号が「10」である。 設計指標が冷房の「C10」である。 SI 単位系の hash フォーマットデータである。

ファイルフォーマットは、同梱している技術解説「2020 年版設計用気象データ」に詳述しておりますのでご参照ください。

なお、指定したフォルダ内に同一のファイルが存在している場合は上書きされますのでご注意ください。

4.2. HASPEE 設計用気象データの構成

HASPEE 設計用気象データの出力ボタンを押すと、出力フォルダとして指定したフォルダの下層に以下の2つのフォルダが自動的に作成されます。

- ・ 「HASPEE_2010」 . . . 2010 年版の EA 設計用気象データが格納されます。
- ・ 「HASPEE_2020」 . . . 2020 年版の EA 設計用気象データが格納されます。

さらに、その下層に地点番号と地点名の付されたフォルダが作成されます。

【例】 宗谷岬の場合のフォルダ名：「10_宗谷岬」

そのフォルダ内に以下4個の HASPEE 設計用気象データファイル（CSV ファイル）が生成されます。

- (1) EA 設計用気象データ (5 タイプ)
- (2) ETD (実効温度差)
- (3) 標準日射熱取得
- (4) 見かけの太陽位置

ファイルの内容については、同梱している技術解説「HASPEE のための 2020 年版設計用気象データ」をご参照ください。

なお、指定したフォルダ内に同一のファイルが存在している場合は上書きされますのでご注意ください。

設計用気象データ
DsnNavi の使い方

2020 年版

編集・著作 株式会社 気象データシステム
印刷・発行 株式会社 気象データシステム

URL <https://www.metds.co.jp/>

© 気象データシステム 2025
